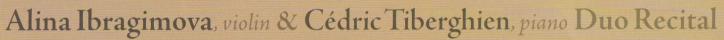
聴き手の心を震わせる、至高のデュオ 2017年以来、風のホールに再び登場

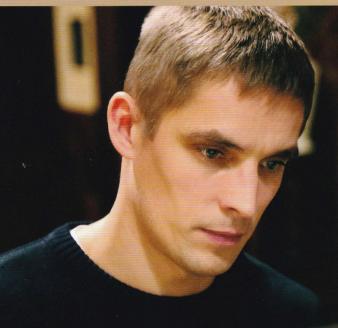
アリーナ・ イブラギモヴァ

ドビュッシー:ヴァイオリン・ソナタト短調 Claude Debussy: Sonata for violin and piano in G minor

プーランク: ヴァイオリン・ソナタ FP119

武満 徹: 妖精の距離





セドリック・ ティベルギアン デュオ・リサイタル

チケット発売日

ークル会員 2024年7月23日[火]/一般7月24日[水]

マークル会員S席4,500円・A席3,600円/一般S席5,000円・A席4,000円

〇-70 (70歳以上/A席限定) 3,600円/ **U-23** (23歳以下/A席限定) 3,000円 *U-23ご利用の中学生以上の方、および0-70をご利用の方は、入場の際に身分証明書のご提示をお願いします。 *風のホールは2階席へのエレベーターがございません。階段でのご案内となります。

三鷹市芸術文化センター

*発売初日は以下の方法で午前10時から発売を開始し、窓口販売はございません。

電話予約 チケットカウンター 0422-47-5122 (10:00-19:00 / 月曜休館・月曜が休日の場合は開館し、翌日・翌々日が休館)

インターネット予約 https://mitaka-art.jp/ticket/ *事前登録 (無料) が必要となります。 *携帯電話からの場合、座席は自動採番です。

●イープラス https://eplus.jp

主催・お問い合わせ

公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団 0422-47-5122

三鷹市芸術文化センター 風のホール 三鷹市上連雀6-12-14

2024年11月23日[土·祝]

15:00開演(14:30開場)



「理想的なパートナーシップ」(グラモフォン誌)

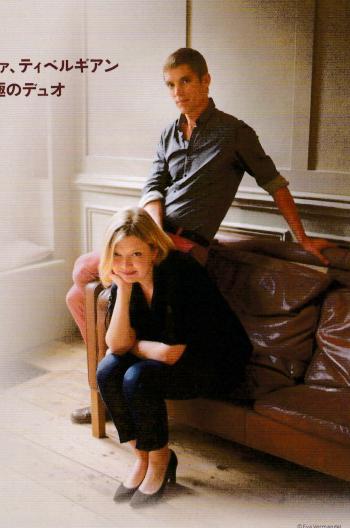
美しく豊かな音で硬軟自在に音楽を紡ぐ、イブラギモヴァ、ティベルギアン 知性と情熱、巧みな演奏技術が高次元で結びつく、究極のデュオ

アリーナ・イブラギモヴァは、バロック音楽から委嘱新作を含む現代音楽 まで幅広いレパートリーを持ち、ピリオド楽器とモダン楽器の両方で活躍する ヴァイオリニスト。ロン=ティボー国際コンクール優勝の名ピアニスト、セドリック・ ティベルギアンと共にソロ作品と室内楽で定期的にパートナーを組み、音楽の 殿堂ロンドンのウィグモア・ホール、ザルツブルク音楽祭など世界最高峰のホー ルや音楽祭で頻繁に共演を重ねています。

2017年秋、二人は風のホールに初登場し、ベートーヴェンのヴァイオリン・ ソナタ第9番「クロイツェル」をメインに据えたプログラムを演奏。優れた演奏 技術と美音、多彩な表現から導かれるヴァイオリンとピアノの密度の濃い対話 や駆け引きは、デュオの真骨頂と醍醐味を伝え、好評を博しました。

今回演奏されるのは、20世紀を生きたドビュッシー、プーランク、武満徹と、 ドイツ・ロマン派を代表するシューマンの作品から成るプログラムです。第一 次世界大戦のさなかにドビュッシーが作曲した、唯一のヴァイオリン・ソナタ。 スペイン内戦で非業の死を遂げた詩人、ガルシア・ロルカを偲んでプーラン クが作曲したヴァイオリン・ソナタ。シュルレアリスムの詩人、瀧口修造の同名 の詩にインスピレーションを受けて武満徹が作曲した「妖精の距離」。そして、 シューマン後期の傑作で、コラール「深き淵より我汝を呼ぶ」の旋律に基づく 四つの変奏が第3楽章に据えられたヴァイオリン・ソナタ第2番。これら4曲 の連なりから、テーマのようなもの、ストーリーめいたものが浮かびあがってく るかのようです。

イブラギモヴァのヴァイオリンからとめどなく溢れる歌心。それを支え、巧み にリードするティベルギアンのピアノ。躍准著しく、名実ともに世界をリードする デュオの緩急自在、表情豊かな音楽の数々をお楽しみください。



アリーナ・イブラギモヴァ (ヴァイオリン) Alina Ibragimova, violin



バロック音楽から委嘱新作までピリオド楽器とモダン楽器の両 方で演奏するアリーナ・イブラギモヴァは、2015年BBCプロ ムスでバッハ無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータの全曲 演奏を行い、英ガーディアン紙は、この公演を「イブラギモヴァ の演奏の臨場感と誠実さには、演奏家と聴衆の間に存在す るいかなる距離感をも打ち破る興味深い能力が備わってい る」と評価、彼女の名声をさらに高めた。

2023/24シーズンは、ロイヤル・ストックホルム・フィル管、オラ ンダ放送フィル、ベルリン・ドイツ響、ベルギー国立管、エイジ・ オブ・エンライトメント管、カメラータ・ザルツブルク管、マー

ラー室内管 (ヒッツアッカー音楽祭のアーティスト・イン・レジデンスとして) に再登場。 これまでに、バイエルン放送響、ボストン響、クリーヴランド管、ヨーロッパ室内管等と共演。 また共演した指揮者には、ベルナルト・ハイティンク、サー・ジョン・エリオット・ガーディ ナー、ダニエル・ハーディング、フィリップ・ヘルヴェッへなどがいる。室内楽でパートナーを 組むセドリック・ティベルギアンとは、ウィグモア・ホール、コンセルトへボウ、ムジークフェラ インなどの他、ザルツブルク、オールドバラなどの音楽祭に出演、またキアロスクーロ・カル テット(弦楽四重奏)の創立メンバーとしても活動。

最新の録音は、テレマンの「無伴奏ヴァイオリンのための12の幻想曲」。使用楽器は、ゲ オルク・フォン・オペルから貸与されたアンセルモ・ベローシィオ (c.1775年製)。

セドリック・ティベルギアン(ピアノ) Cédric Tiberghien, piano



フランスのピアニスト、セドリック・ティベルギアンは、輝かしい 国際的なキャリアを確立し、カーネギー・ホール、ケネディ・セン ター、アムステルダム・コンセルトへボウ、クイーン・エリザベス・ ホール、バービカン・センター、ザルツブルクのモーツァルテウム 等、世界で最も名声の高いホールに登場している。

2023/24シーズンは、ロンドン・フィル、サンフランシスコ響、リヨン 国立管、アトランタ響に再登場する。昨シーズンは、ベルリン・ フィル、フランス国立管、バーミンガム市響で演奏。また、ロンドン のウィグモア・ホールとのつながりは長く、今シーズンも続く 「ベートーヴェン変奏曲」プロジェクトの第5弾で、他の作曲家

の作品を並べ、このジャンルの進化を示している。この他にもベルリンのピエール・ブー レーズ・ザール、マーラー室内管のヒッツアッカー音楽祭にも出演する。

これまでロンドン響、ボストン響、クリーヴランド管、チューリッヒ・トーンハレ管、チェコ・フィル、 パリ管等と共演、またクリストフ・エッシェンバッハ、イルジー・ビエロフラーヴェク、フランシス =グザヴィエ・ロト、ヤニック・ネゼ=セガン、ステファン・ドヌーヴ等世界的指揮者と共演。

録音は、2023年のグラモフォン賞の最終選考に残ったフランソワ・グザヴィエ=ロト指揮 レ・シエクルとのラヴェルのピアノ協奏曲等がある。

室内楽にも熱心に取り組んでおり、特に、アリーナ・イブラギモヴァ(vn)、アントワン・タメ スティ(va)とは定期的にパートナーを組んでいる。



@ Music Mitaka (公財) 三鷹市スポーツと文化財団・音楽部門の公式 X (旧Twitter) です。 ぜひこの機会に「フォロー」をお願いします!

ご予約後、チケット代金の 郵便振込ができます。

口座番号: (ゆうちょ銀行) 00190-5-569156 加入者名:三鷹市芸術文化センター

- *「払込取扱票」の 通信欄に〈予約番号〉を ご記入ください。
- *普通郵便の場合84円、簡易書留ご希望の場合434円を加算してお振込みください。
- *振込手数料はお客様のご負担になります。
- *お振込み後、10日程度でチケットをお届けします。

本公演のチケットまたはチケット半券で三鷹駅周辺の「チケットバートナーショップ」の特典が受けられます! https://mitaka-sportsandculture.or.jp *サービス有効期間は公演日から7日間

記児あり

本公演には託児サービスがございます。

対象:1歳~未就学児 定員:10名(要予約) 料金:お子様一人につき500円 お申込み:2024年11月9日[土]までに 三鷹市芸術文化センターへお申込みください。

Tel: 0422-47-5122

財団友の会「マークル」会員募集中!! 一般発売日より前に 会員先行予約があります。

- *年会費2.000円
- *チケットの優先予約·割引(1 公演2枚まで)。 ポイントの還元(ご利用額の5%)情報誌の送付、 チケットの無料送付(口座会員のみ)。



三鷹市芸術文化センター

181-0012 三鷹市上連雀6-12-14 Tel: 0422-47-5122

IR 三鷹駅南口2番バス乗り場から 「八幡前・芸術文化センター前」下車すぐ。 または5・6・7番乗り場から「八幡前」下車1分。 または徒歩約15分。

- *公演の内容等は、やむを得ず変更となる場合がございます。 *公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払戻し、交換はできませんので、何卒ご了承ください。
- *未就学のお子様は入場できません。また、危険防止のため、小学生のお子様は、2階正面席最前列はご遠慮ください。 *2階席へのエレベーターはございません。階段をご利用ください。 *お車での来館はご遠慮願います。